



LIVE
RĪGA

www.LiveRiga.com

リガ観光



リガツーリスト・インフォメーションセンター

Rātslaukums 6, 電話番号 + 371 67 037 900

Kaļķu iela 16, 電話番号 + 371 67 227 444

営業時間:
10:00 – 18:00
info@rigatic.lv

リガ観光開発局

www.LiveRiga.com

写真:

ラトビア投資開発公社ツーリズム部
リガ観光開発局アーカイブ

市庁舎広場

1

市庁舎広場は旧市街の石橋に面しています。中世には青空市場として使用されていましたが、第二次世界大戦中、完全に破壊されてしまいました。しかし、今日ではブラックヘッド会館やシュバーヴェ・ハウス、聖ローランド像と同じく当時の姿そのままで再建されています。ここには、1970年代のソビエト占領時代の建物、占領博物館もあります。占領博物館の展示は、一時的に場所が移動し、Raiņa bulvāris 7で開催されています。



リガバス持参で、旧市街の無料ガイド付きウォーキングツアーをお楽しみ頂けます。場所は市庁舎広場、開始時間は10:30です。

ブラックヘッド会館

2

ブラックヘッド会館は、14世紀にリガのドイツ人の独身商人のためのギルドとして建設されました。当時は街中で最も名高い壮大な建物でした。第二次世界大戦中に完全に破壊・略奪されてしまいましたが、1999年に元の建物と全く同じように復元され、オランダのルネサンス様式のファサードや、素晴らしい天井画を見る事ができます。ブラックヘッド会館の内部は、一般公開されています。

Rātslaukums 7



聖ペテロ教会

3

聖ペテロ教会は赤レンガ造りの堂々たる建物です。元々は1209年に木造で建てられましたが、その後石造教会へと改築されました。尖塔内のエレベーターで上まで昇ると、旧市街の赤い屋根やダウガヴァ川の素晴らしいパノラマの景色を一望することができます。

Reformācijas laukums 1



リガバス持参で、リガの聖ペテロ教会の展望台への入場料が50%オフ



ラトビア国立オペラ座

4 ビルセータ運河の隣に位置するオペラ座は、ラトビアの音楽、文化生活の殿堂です。1863年にドイツ人のための都市劇場として建設されましたが、1995年に完全に修復されました。ホールの音響効果は大変優れており、世界一流のオペラ、バレエ、ポップミュージックの演奏会場として使用されています。建物の外観はモスクワのボリショイ劇場と似ており、内装は繊細で気品に満ちています。

Aspazijas bulvāris 3



自由記念碑

5 自由記念碑は、ラトビア独立のシンボルであり、リガの主要なランドマークのひとつです。メインストリート(Brīvības iela)にそびえ立ち、遠くからでも見ることができます。その3つの星が、市内の中央公園の木々の上方にそびえています。自由の記念碑の北側のビルセータ運河の近くに、砂の丘バステイカルンス (Bastejkalns) があり、旧市街周辺の緑地の一部となっています。



リーヴ広場

6 リーヴ広場は比較的新しく、第二次世界大戦後の20世紀半ばに作られました。周囲には18世紀に建てられた興味深い住宅が立ち並び、また豊かに装飾された内装を誇る大ギルドホール (商人組合) やスマール・ギルド・ホール (手工業組合) に囲まれています。夏には多くの屋外カフェが出て、夕方には野外コンサート、レストラン、クラブなどでも楽しむことができ、深夜まで賑わいが途絶えることがありません。

ドーム広場

(リガ大聖堂前の広場)

7 リガ旧市街の中心に位置し、旧市街最大の広場であるドーム広場。現在の外観は、広場を囲む中世の建物の一部が取り壊された1930年代にまで遡ります。広場の端にあるリガ大聖堂は、1211年にアルベルト大司教によって建てられ、その後何度も増改築が行われました。現在の姿は後期ロマネスク様式、初期ゴシック様式、バロック様式など様々な建築様式が組み合わされています。また大聖堂は、様々なコンサートやリサイタルで使用されるオルガンでも有名です。



リガ証券取引所美術館

8 国の重要記念建造物であるリガ証券取引所は、富と豊かさを象徴するヴェネツィア・ルネサンス建築様式を基にデザインされ、1852年から1855年にかけて建設されました。建物は完全修復され、現在のリガ証券取引所美術館となっています。金色に輝く壁と人工大理石が惜しみなく使われた華麗な内装は、リガの必見名所の1つです。美術館では、国際的な展覧会プロジェクトや様々な文化や芸術のイベントが定期的に開催されています。

Doma laukums 6



リガの歴史と海運の博物館

9 ラトビア最古の公立博物館であるリガの歴史と海運の博物館は、欧州で最も古い博物館のひとつでもあり、その起源は1773年まで遡ります。13世紀に建築が始まった重要建造物であるリガ大聖堂は、教会、ゴシック様式の回廊、そしてこの博物館と構成されています。博物館の見所は、18世紀の誇り高い円柱ホールです。

博物館の16個ある展示ホールは、800年以上にわたるリガの成り立ちと発展、そして10世紀から今日に至るラトビアの海運の歴史について展示しています。

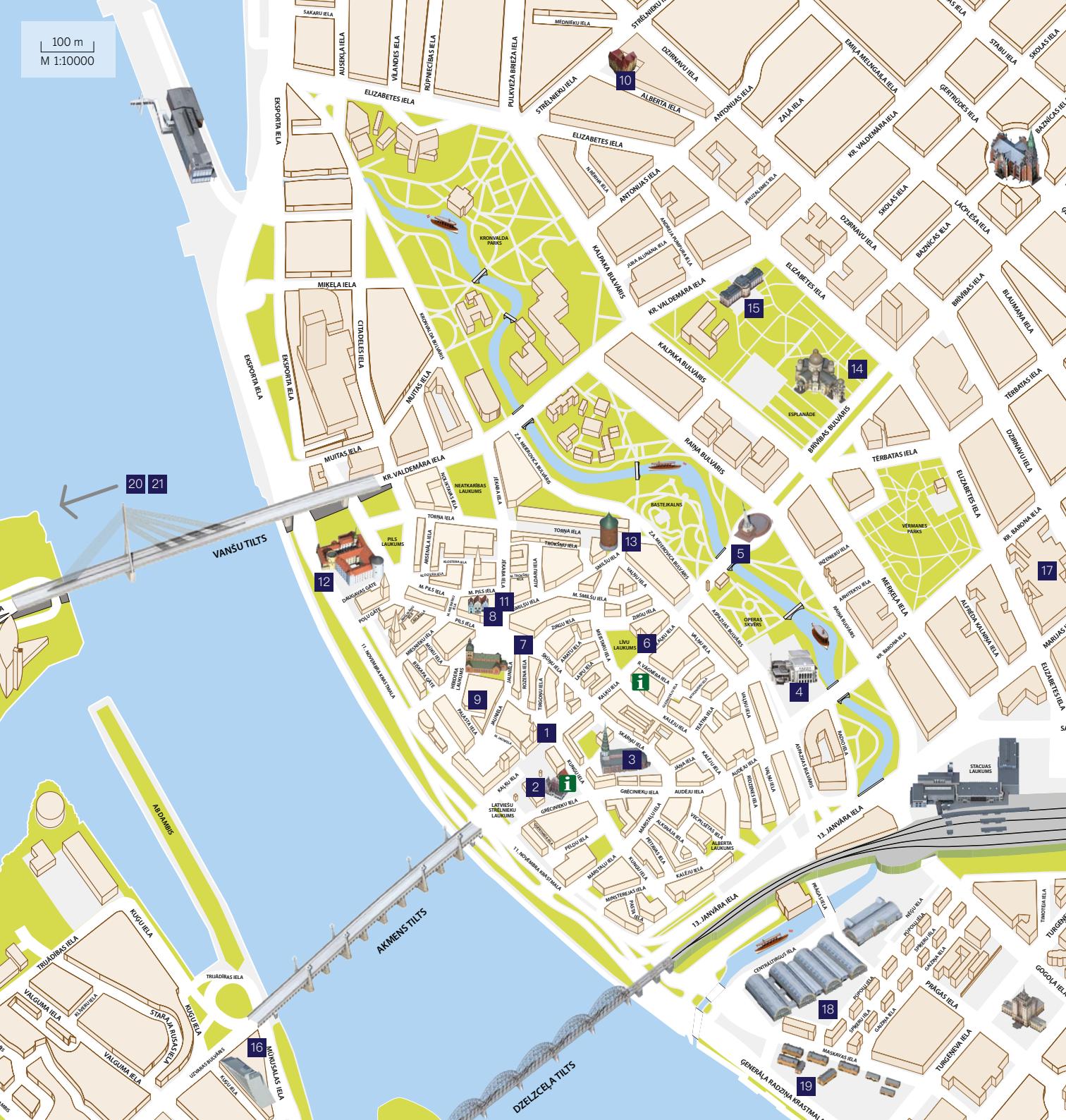
Palasta iela 4



リガバス持参で、リガの歴史と海運の博物館への入場料50%オフ



100 m
M 1:10000





ユーゲントシュティール (アール・ヌーヴォー)

10 リガの市内中心部の建物の3分の1は、魅力的なユーゲントシュティール様式で造られており、欧洲随一のユーゲントシュティールの名所となっています。素晴らしい建築物の多くはエリザベス通りとアルペルタ通りにあり、その一部は有名な建築家ミハイル・エイゼンシュテイン（有名なロシアの映画監督、セルゲイ・エイゼンシュテインの父）によって設計されています。

Alberta iela, Elizabetes iela

リガバスで、ユーゲントシュティール博物館の入場料の50%オフ
(Alberta iela 12)



三人兄弟の家

11 三人兄弟の家は、三軒とも異なる世紀に建てられ、それぞれの時代の特徴をもつ建物で、最も古い家（17番地）は15世紀まで遡ります。一番立派な中央の家（19番地）は1646年、三番目（21番地）は17世紀後半に建てられました。

現在、三人兄弟の家はラトビア建築博物館と国立文化財保護センターとなっています。

Mazā Pils iela 17, 19, 21



リガ城

12 1330年に建設された石造りの城であるリガ城。何世紀にもわたり、数多くの支配者達や戦争によって建設と破壊が繰り返されたこの城は、1922年にラトビア共和国大統領官邸となりました。ソビエト時代にはピオナール城として、ピオナール青少年団に使用されたものの、1995年からは再び大統領官邸となっています。

Pils iela 1/3

火薬塔

13 1330年に建設された火薬塔は、リガの要塞塔の一つであり、もともとは砂の塔と呼ばれていました。何度も再建されたのち、火薬を保管する火薬庫として使われるようになった17世紀から、火薬塔と呼ばれるようになりました。1919年以来、この塔はラトビア軍事博物館となっています。

Smilšu iela 20



救世主生誕大聖堂

14 救世主生誕大聖堂は、エスプラナーデ公園の敷地内にある市内最大のロシア正教会です。

ソビエト時代にプラネタリウムとレストランとして使われたこの建物は、教会として完全修復され、現在では定期的に正教会の礼拝が行われています。

救世主生誕大聖堂は、建築と安定の象徴として、外国人観光客だけではなく、慰めと平和を求める人々が訪れています。

Brīvības bulvāris 23



ラトビア国立美術館

15 美術館の建物は、1905年にバルト・ドイツ人である建築家、V・ノイマン（V.Neumann）の構想により建設されました。

現在、ラトビア国立美術館は、ラトビア随一の美術品コレクションを所蔵しています。

大規模な修復・改装の後、2016年5月に再オープンしました。

Jāņa Rozentāla laukums 1





ラトビア国立図書館

16 旧市街の対岸、ダウガヴァ川の左岸にそびえる新しい建物であるラトビア国立図書館(LNB)は、別名「光の城」と呼ばれています。ラトビアでこの数十年に建てられたもののうち、最も規模が大きく印象的な文化的建築作品の1つです。新しい図書館は最新の情報センターであり、また館内では、定期的に様々な展示会やコンサートが催されています。

Mūkusalas iela 3



ベルガ・バザール

17 洗練された雰囲気のベルガ・バザールは、1887年から1900年にクリスタプス・ベルクスによって建設された、リガ最古の歩行者専用のアーケード街です。高級品を扱う小さなブティックや選りすぐりのレストラン、高級ホテル、アートギャラリーが立ち並ぶこの一角は、市内中心部のオアシスです。

Elizabetes iela (Kr. Barona ielaとMarijas ielaの間)



リガ中央市場

18 リガ中央市場は、欧州最大かつ最古の市場のひとつ。市場の巨大な5つのホールは、元々は飛行船の格納庫でした。ホール内外では、屋台のオーナー達が衣服から花まであらゆる物を売っています。常に活気あふれるこの市場は、行き来する人々を観察したり、地元の特産品を試したり、お買い得の品を探すのに最適です。

スピーチェリ地区(旧倉庫街)

19 19世紀後半にバルト地域最高の建築家たちによって建設された倉庫街のスピーチェリ地区は、最新文化の中心地として生まれ変わりました。

統一感ある歴史的な雰囲気を維持するため、このレンガ造りの倉庫街はひとつひとつ修復されてきました。現在ではクリエイティブ業界やオフィス、アートギャラリー、コンサートホール、居心地良い雰囲気のレストランやカフェが立ち並ぶエリアとなっており、またゲットー博物館もあります。

Maskavas iela 4, 6, 8, 10, 12, 14



ジャニス・リブケ記念館

20 ジャニス・リブケ記念館は、第二次世界大戦中に50人以上のユダヤ人を小屋の下の地下室に隠し、ナチス・ドイツから救った勇敢な男に捧げられています。

展示では、匿われていた人々が住んでいた環境が、可能な限り忠実に再現されています。また展示のほか、非常に興味深い記念館の建築も見所です。

Mazais Balasta dambis 8



カルンツィエマ地区

21 旧市街側からダウガヴァ川を渡ったところにあるバルダウガヴァには、木造建築が立ち並ぶ地区があります。19世紀を代表するこの木造住宅は、パールダウガヴァのメインストリートのひとつであるKalnciema ielaの両側に立ち並んでいます。

最近改修が終わったカルンツィエマ地区は、ユネスコの貴重な文化遺産に認定されているリガの木造建築を見るには絶好の場所です。またこの地区では、マーケットや展示会、ワークショップなども開催されます。

Kalnciema iela 35, 37



LIVE
RīGA

リガパスで街の魅力を発見しよう!

公共交通機関の無制限利用

最高の美術館やレストランでの割引

無料観光ツアー



ご購入場所

「ウェルカム・トゥ・リガ」オフィス

リガ国際空港内

ツーリストインフォメーションセンター

Rātslaukums 6

www.LiveRiga.com